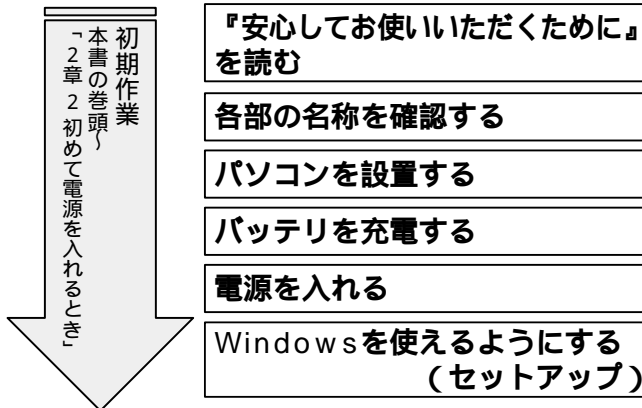




マニュアルの使い方

① 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書） -

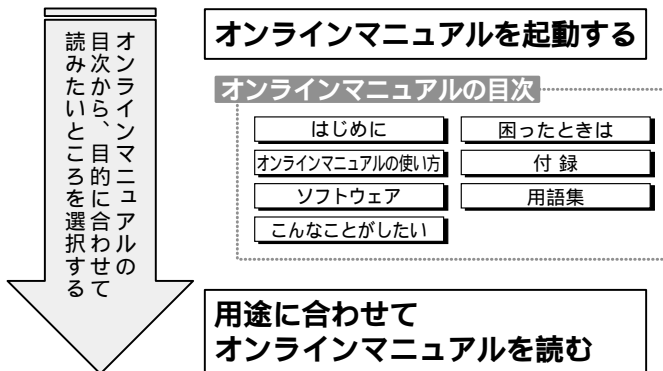
☞ 目次は 4 ページ



Windows のセットアップ終了後、Windows の使い方については『Windows Me クイックスタートガイド』または『Windows のヘルプ』をご覧ください。

② 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル -

オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。本書「2章 4 オンラインマニュアルの起動」に従ってオンラインマニュアルを起動してください。オンラインマニュアルの目次が表示されます。



本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。また、同梱されているほかの説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。



サウンド / 映像ソフトの使い方

本製品にあらかじめインストールされたソフトを使って、次のようなことができます。

ソフトの使い方については、オンラインマニュアルをご覧ください。

☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

① サウンドを楽しむ

CDなどから音楽ファイルを取り込む



東芝LIVE MEDIA PLAYER

MP3
MIDI
WAVE

ファイルを再生する



AAC方式で圧縮

TOSHIBA Audio Manager

音楽を再生する
プレイリストを作る

東芝LIVE MEDIA VOICE

音声を録音する
音声を再生する

顔付きMusicDance

音楽に合わせてキャラクタがダンスする



お願い

・音楽ファイルの再生中は、ACアダプタの取りはずしを行わないでください。パソコン本体の電源が切れる場合があります。

② 映像を楽しむ

デジタルビデオカメラで動画を撮影



デジタルビデオカメラを接続 (i.LINKコネクタ)

Ulead VideoStudio

録画テープより動画を取り込む
動画を編集する
録画テープに編集した動画を保存する
動画をファイルに保存する

USBカメラを接続

東芝LIVE MEDIA VIDEO

動画を撮影する
動画を保存する
動画を再生する
動画をメールに添付する

東芝LIVE MEDIA EDIT

動画ファイルを編集する

MPEG-4 Video Encoder V3
for LIVE MEDIA形式で圧縮する

Mediapresso

動画をシーンごとに表示する

デジタルカメラで静止画を撮影

1 USBカメラを接続して、
静止画を撮影することができます。

パソコンに取り込む

Ulead Photo Express

静止画を撮影する (1)
静止画を編集する
静止画を保存する
アルバムを作って静止画を管理する
ポストカードやカレンダーを作る

東芝LIVE MEDIA STILL

静止画を撮影する (1)
静止画を保存する
静止画を再生する
静止画をメールに添付する



目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| マニュアルの使い方 | 1 |
| 1 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書） - | 1 |
| 2 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル - | 1 |
| サウンド / 映像ソフトの使い方 | 2 |
| 1 サウンドを楽しむ | 2 |
| 2 映像を楽しむ | 3 |
| 目次 | 4 |
| はじめに | 8 |
| 本書の読み方 | 14 |
| 日常の取り扱い | 16 |

| | |
|---------------------------------------|------------|
| 1 章 電源を入れる前に | 2 1 |
| 1 各部の名称 | 22 |
| 2 周辺機器の接続場所 | 25 |
| 3 パソコンの準備 | 27 |
| 1 パソコンを快適に使うには | 27 |
| 2 電源に接続する | 29 |
| 3 ディスプレイを開ける | 30 |
| 4 電源に関する表示 | 31 |
| 4 バッテリーの充電 | 32 |
| 1 バッテリー駆動で使うために | 32 |
| 2 バッテリーの充電 | 32 |
| 3 バッテリーに関する表示 | 34 |
| 5 アクュポイント とコントロールボタンの使い方 | 35 |
| 6 キーボード | 36 |
| 7 サウンド | 44 |
| 1 スピーカの音量を調整する | 44 |
| 2 システムスピーカについて | 46 |

| | | |
|-----------|----------------------------------|-----|
| 2章 | 電源を入れて切るまで | 47 |
| 1 | 電源を入れる | 48 |
| 2 | 初めて電源を入れるとき | 51 |
| | 1 Windows のセットアップ | 51 |
| | 2 ユーザ登録をする | 59 |
| 3 | 電源を切る | 61 |
| 4 | オンラインマニュアルの起動 | 67 |
| 3章 | パソコンを持ち歩く | 69 |
| 1 | バッテリーを使う | 70 |
| | 1 バッテリー充電量を確認する | 70 |
| | 2 時計用バッテリー | 72 |
| | 3 バッテリーの使用時間 | 72 |
| | 4 バッテリーパックを交換する | 74 |
| 2 | バッテリーを節約する | 77 |
| 4章 | ハードウェアについて | 79 |
| 1 | 作業の前に | 80 |
| 2 | 機能を拡張する | 81 |
| 3 | PC カードを使う | 86 |
| 4 | フロッピーディスクを使う | 90 |
| | 1 フロッピーディスク | 90 |
| | 2 フロッピーディスクドライブ | 92 |
| | 3 フロッピーディスクのフォーマット | 94 |
| 5 | USB 機器を接続する | 96 |
| 6 | i.LINK (IEEE1394) 機器を接続する | 97 |
| 7 | メモリを増設する | 100 |
| 8 | 大容量バッテリーを使う | 104 |
| | 1 大容量バッテリーパックの取り付け / 取りはずし | 105 |
| | 2 パソコン本体への取り付け / 取りはずし | 106 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 5章 便利な機能 | 109 |
| 1 消費電力を節約する | 110 |
| 2 インターネットに接続する | 116 |
| 1 電話回線のタイプを設定する | 118 |
| 2 パソコンと電話回線を接続する | 120 |
| 3 プロバイダと契約する | 122 |
| 4 プロバイダと契約後、必要な設定を行う | 125 |
| 5 インターネットに接続する（2回目以降）..... | 128 |
| 6 インターネット接続を終了する | 129 |
| 3 電子メールを使う | 131 |
| 1 メールのおしくみ | 131 |
| 2 必要な設定を行う | 132 |
| 4 東芝 HW セットアップ | 138 |
| 6章 カスタム・リカバリCDの使い方 | 139 |
| 1 カスタム・リカバリCDとは | 140 |
| 2 標準システムを復元する | 141 |
| 1 準備 | 141 |
| 2 操作手順 | 141 |
| 3 最小構成でシステムを復元する | 143 |
| 1 準備 | 143 |
| 2 操作手順 | 144 |
| 4 アプリケーションを再インストールする | 146 |
| 7章 困ったときは | 147 |
| 1 困ったときは | 148 |
| 1 Q&Aを見る前に | 148 |
| 2 Q&A集 | 149 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 付録 | 197 |
| 1 製品仕様 | 198 |
| 1 外形寸法図 | 198 |
| 2 メモリマップ | 199 |
| 3 I/Oポートマップ | 200 |
| 4 DMA 使用リソース | 201 |
| 5 IRQ 使用リソース | 201 |
| 2 各インターフェースの仕様 | 202 |
| 1 RGB インタフェース | 202 |
| 2 モデムインタフェース | 203 |
| 3 USB インタフェース | 204 |
| 4 i.LINK (IEEE1394) インタフェース | 204 |
| さくいん | 205 |



はじめに

このたびは、ダイナブック エスエス DynaBook SS をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は小型・軽量で Windows が動作するノートパソコンです。

本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

また本製品には、本書のほかに、より詳細な説明をしたオンラインマニュアルを用意しています。

☞ オンラインマニュアルについて ☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」
また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

☞ リリース情報 ☞ 「日常の取り扱い リリース情報について」

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定に関しては、「5章 1 消費電力を節約する」を参照してください。

● モデム使用時の注意事項

内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

使用できない地域

内蔵モデムは、次の国で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル

その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。



お願い

- ・ 雷雲が近付いてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・ 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる国にあわせてモデムの国設定が必要です。
 - ☞ モデムの国設定
 - ☞ 《オンラインマニュアル-内蔵モデム用国選択ユーティリティ》

● i.LINK (IEEE1394) 機器のご使用について

i.LINK (IEEE1394) 機器を使用する場合、次の注意事項を必ず守ってお取り扱いください。

i.LINK 対応機器を使用しデータ転送を行う場合、必ずデータ（データファイルや、ビデオカメラで撮影したテープ）のバックアップをお取りください。特に動画データ転送時は、パソコンの処理に負荷がかかり、状態によってはコマ落ちが発生する場合があります。また、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

静電気が発生しやすい場所や電氣的ノイズが大きい場所での使用時にはご注意ください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電氣的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルビデオカメラ等を使用し、データ通信を行なっている最中に他の i.LINK 対応機器の取り付け / 取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。

i.LINK 対応機器の取り付け / 取りはずしはデータ通信を行っていないときまたはパソコン本体の電源を入れる前に行なってください。

FCC information

Product name : PORTÉGÉ 3480/PORTÉGÉ 3430
Model number : PP348J/343J

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or expansion unit's External monitor port, parallel port, serial port, USB port, IEEE1394 port and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone: (949) 583-3000

TOSHIBA



EU Declaration of Conformity

EU Übereinstimmungserklärung

Déclaration de conformité UE

Declaración de conformidad de la UE

Dichiarazione di conformità UE

EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PP348J/PP343J conforms to the following Standards:
Toshiba erklärt, daß das Produkt: PP348J/PP343J folgenden Normen entspricht:
Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PP348J/PP343J est conforme aux normes suivantes:

Toshiba declaran que el producto: PP348J/PP343J cumple los siguientes estándares:
Toshiba dichiara, che il prodotto: PP348J/PP343J é conforme alle seguenti norme:
Toshiba intygar att produkten: PP348J/PP343J överensstämmer med följande normer:

| | |
|-------------------------------|--|
| Supplementary Information: | “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.” |
| Weitere Informationen: | “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.” |
| Informations complémentaires: | “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.” |
| Información complementaria: | “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.” |
| Ulteriori informazioni: | “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.” |
| Ytterligare information: | “Produkten uppfyller kraven enligt lägsäpänningsdirektiver 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.” |

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

● Trademarks

- Microsoft、MS-DOS、Windows、Outlook は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel は Intel Corporation の登録商標です。
- PS/2 は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Sound Blaster は米国 Creative Technology 社の商標です。
- K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

● お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。



本書の読み方

記号の意味



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷じゅうしょうを負う可能性があることを示します。



注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害しょうがいを負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。



この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

(注) 補足説明をしています。

画面の表示方

画面の全部、または一部を表示します。







【例】

Total = x x x x KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを囲んで書いています。


-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  (スペースキー) を押してください。

● 操作の表し方



操作や作業は、次のように示します。



【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  キーを押す

この場合は、 キーを押したまま  キーを押します。

● 用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム

特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me

Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating system

日本語版を示します。

MS-IME

Microsoft[®] IME 2000 を示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》を参照してください。

☞ オンラインマニュアルについて ☜ 「2章4 オンラインマニュアルの起動」

● 日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

● パソコン本体



注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

ディスプレイは静かに閉じてください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 5 ~ 35 、湿度 20 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

● コンパクトディスク（CD）

CDの内容は故障の原因にかかわらず保証いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。

CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CDの表面に文字などを書かないでください。

CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

● 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、固くしぼって拭きます。

キーのすきまに入ったゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなどの飲み物をこぼしたときは、電源を入れる前にお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください（有償）。

● 液晶ディスプレイ

● 画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。

そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

● サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

● アクュポイント（ポインティング装置）

マウスポインタを動かすポインティング装置をアクュポイント といいます。アクュポイント は、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アクュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アクュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

また、次の場合、画面上のマウスポインタが移動することがあります。この場合は、マウスポインタが動かなくなるのを待ってから、アクュポイント を使用してください。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき

● フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

● モデム


内蔵モデムは、ITU-T V.90 または K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

モデムの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。

● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

電源は必ず切ってください。

電源を切った後でも、Disk  LED が点灯中は動かさないでください。急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。

パソコン本体に周辺機器を接続している場合は、取りはずしてください。落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。

故障の原因になります。

● リリース情報について

本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。ご覧になるには [スタート] メニュー - [はじめに] - [リリース情報] を選択します。

● 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

AC アダプタは 100V ~ 240V まで使用可能です。

● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。

時計用バッテリー（交換は有償です）

アキュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

1

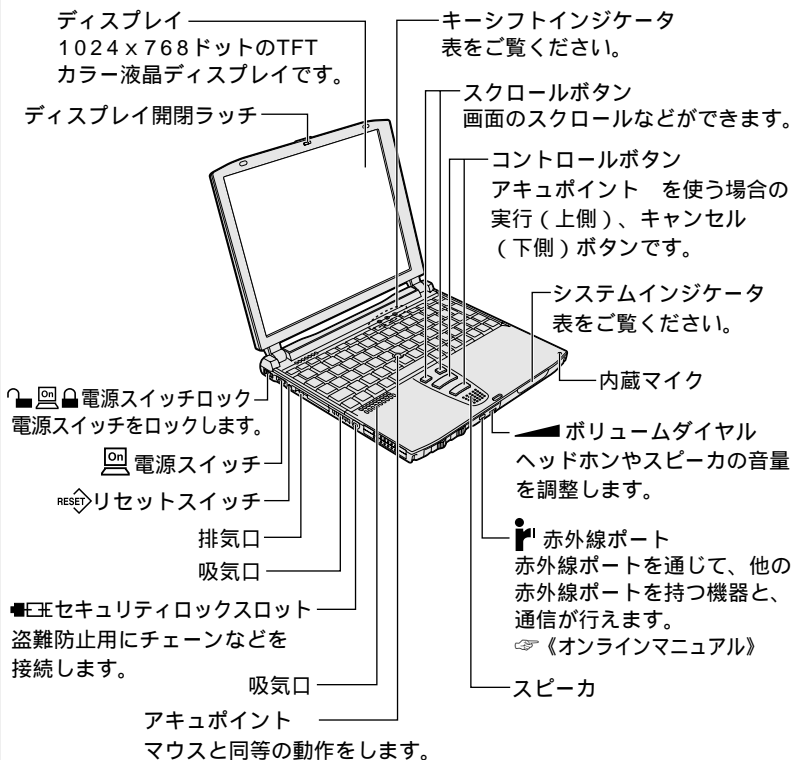
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。


| | | |
|----------|----------------------------------|----|
| 1 | 各部の名称 | 22 |
| 2 | 周辺機器の接続場所 | 25 |
| 3 | パソコンの準備 | 27 |
| 4 | バッテリーの充電 | 32 |
| 5 | アキュポイント と コントロールボタンの使い方 | 35 |
| 6 | キーボード | 36 |
| 7 | サウンド | 44 |


1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。
各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。



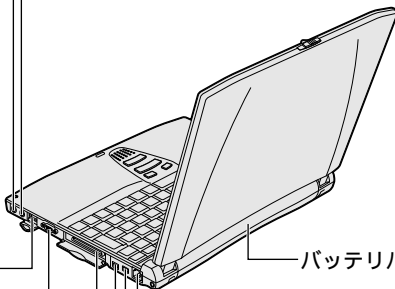
| | | | |
|-----------------|--|------------------|--|
| システム インジケータ | | DC IN LED | 電源コードの接続 ☞ 「本章 3-4 電源に関する表示」 |
| | | Power LED | 電源の状態 ☞ 「本章 3-4 電源に関する表示」 |
| | | Main Battery LED | バッテリーの状態 ☞ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」 |
| | | 大容量バッテリー LED | 大容量バッテリー (別売り) の状態 ☞ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」 |
| | | Disk LED | ハードディスク装置にアクセスしている |
| キーシフト インジケータ | | Caps Lock LED | 文字入力の「大文字ロック状態」 ☞ 「本章 6-入力に関する制御キー」 |
| | | Arrow Mode LED | 文字入力の「アロー状態」 ☞ 「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」 |
| | | Numeric Mode LED | 文字入力の「数字ロック状態」 ☞ 「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」 |


 マイク入力端子
マイクホンを接続
します。

 ヘッドホン出力端子
ヘッドホンを接続します。音源はステレオで出力されます。
ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ（3.5mm）を使用してください。





- ・次のような場合にはヘッドホンを耳からはずしてください。雑音が発生する場合があります。
- ・パソコン本体の電源を入れるとき
- ・パソコン本体の電源を切るとき
- ・ヘッドホンを取り付ける / 取りはずすとき




 USBコネクタ

バッテリーパック

 RGBコネクタ

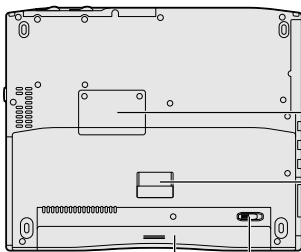
 モジュラージャック


モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。


 拡張コネクタ


 DC IN 15V 電源コネクタ

 i.LINK (IEEE1394) コネクタ

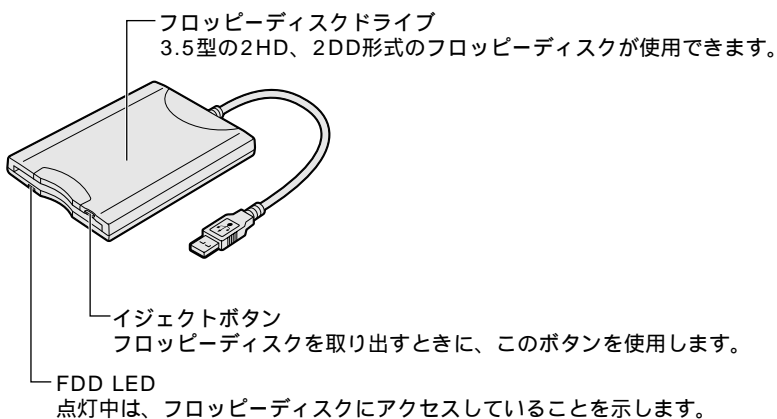
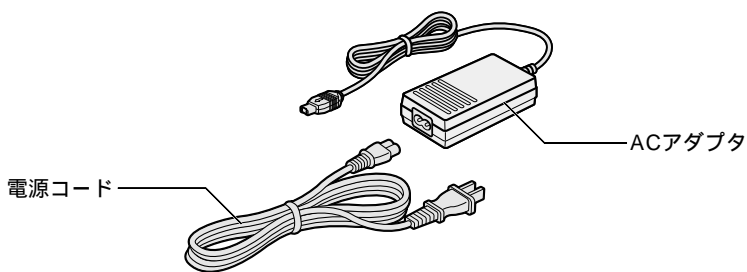


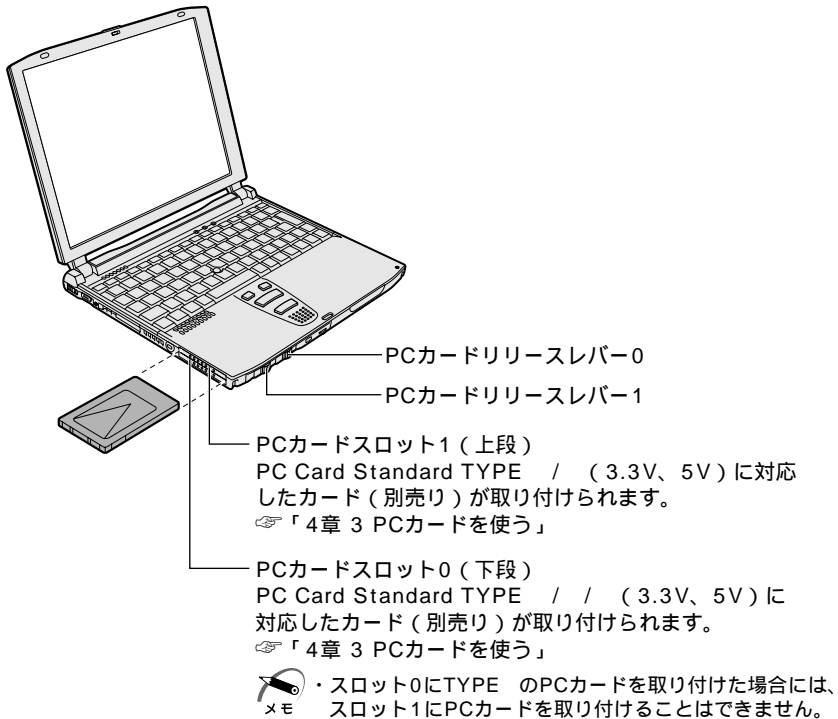
 増設メモリスロット


 大容量バッテリー接続コネクタ

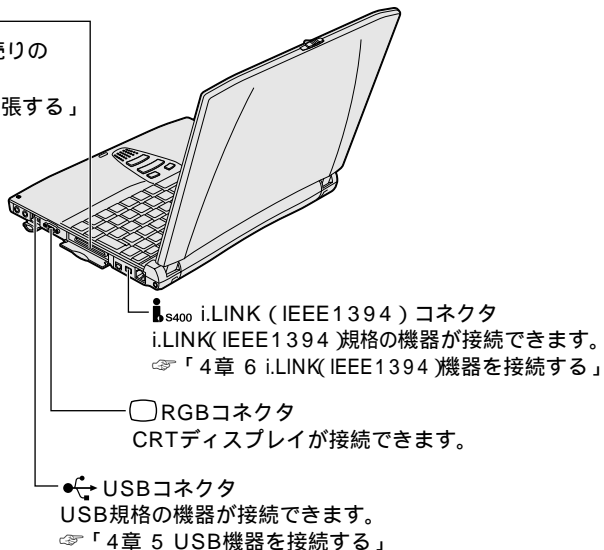
 バッテリー・リリースラッチ
バッテリーパックを取りはずすときに操作します。
☞ 「3章 1-4 バッテリーパックを交換する」

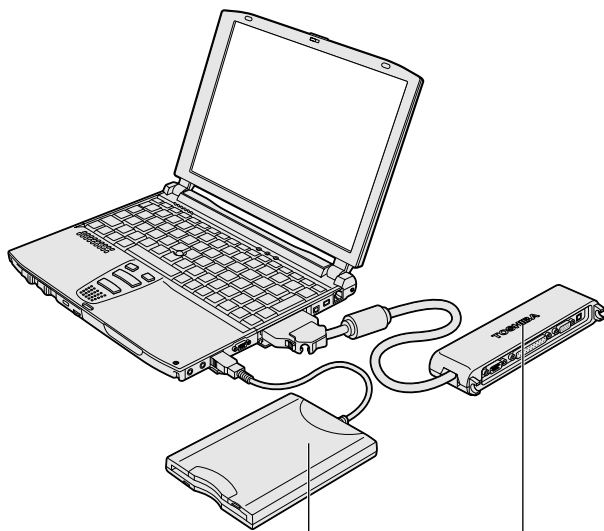
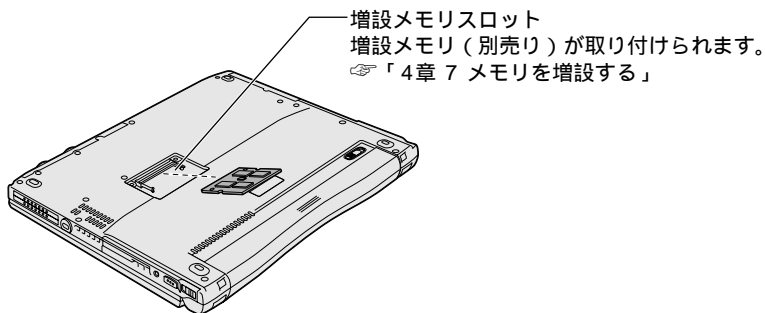
バッテリーパック





 拡張コネクタ
I/Oアダプタなど別売りの機器を接続します。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」





USBフロッピーディスクドライブ
☞ 「4章 4 フロッピーディスクを使う」

I/Oアダプタ（別売り）
拡張コネクタには別売りの機器（I/Oアダプタ、ミニI/Oアダプタ、マルチメディアポートリプリケータのいずれか）を取り付けることができます。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」

3 パソコンの準備

ここでは、電源を入れる前に必要な準備について説明します。

1 パソコンを快適に使うには

本製品を設置、使用するには次のことを守ってください。

● 設置する環境



注意

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。
- ・ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。



お願い

- ・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

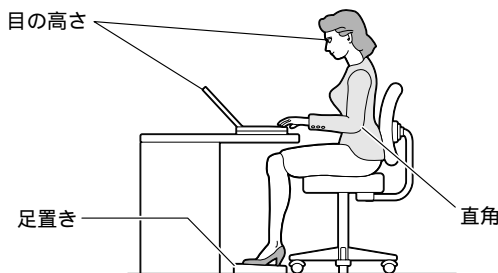
温度は 5 ~ 35 、湿度は 20 ~ 80% の環境にする
急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
暖房器具などの熱いものの近くには置かない
腐食性の薬品のそばに置かない

● 使用時の環境

適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
おしりよりも膝が少し高くなるように座る
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。



● 照明

日光と照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコンを置かない
なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。


● 使用方法

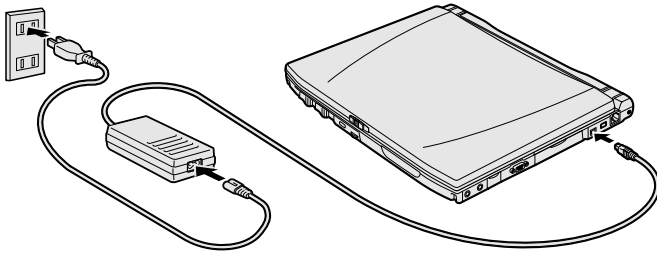
リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子を正しい位置に置いてください。
適度に姿勢を変える
時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
長時間画面を見続けないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。

② 電源に接続する

● 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。

接続は次の図の  の順に行います。 のとき、ACアダプタのプラグの矢印 (⇨) を下にして接続してください。はずすときは逆の順で行います。



● 取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



警告

- ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、電圧や+ -の極性が異なっていることがあるため、発煙、火災のおそれがあります。
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



お願ひ

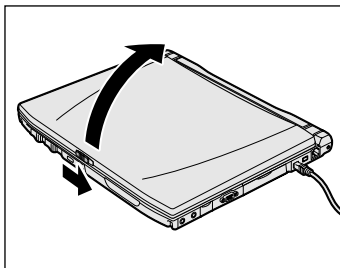
- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントに接続しないでください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

③ ディスプレイを開ける

1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし、ディスプレイを静かに起こす



このとき、両手を使ってゆっくり起こしてください。






注意


- ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
ディスプレイを強く閉じると、衝撃でハードディスク装置しょうげきなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

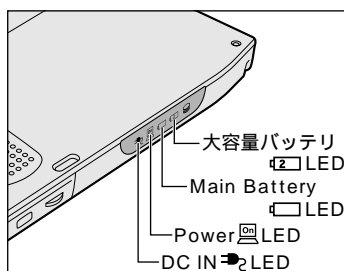
4 電源に関する表示

電源に接続すると、DC IN  LED、Main Battery  LED が点灯します。



大容量バッテリー（別売り）を取り付けている場合は、大容量バッテリー  LED も点灯します。

⇨ Main Battery  LED、大容量バッテリー  LED について
⇨ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」

電源を入れると Power  LED が点灯します。



それぞれのインジケータの色は次のことを表しています。

| | LEDの状態 | パソコン本体の状態 |
|---|---------------|-------------------------------|
| DC IN  LED | 緑 | ACアダプタから電力が供給されている |
| | オレンジ点滅 | 異常警告 バッテリー、ACアダプタまたはパソコン本体に異常 |
| | 消灯 | ACアダプタから電力が供給されていない |
| Power  LED | 緑 | 電源ON |
| | オレンジの点滅（ゆっくり） | スタンバイ中 |
| | 消灯 | 電源OFF |

4 バッテリーの充電

1 バッテリー駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。




充電を完了（フル充電）しなくてもバッテリー駆動で使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリーの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。


● 充電方法


1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ


DC IN  LED が緑色に点灯して Main Battery  LED、大容量バッテリー  LED（大容量バッテリーを取り付けている場合）がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。

2 Main Battery LED が緑色になるまで通電する

バッテリーが充電中は Main Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

☞ Main Battery  LED について ⇨ 「本節 3 バッテリーに関する表示」



メモ

・標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方を接続しているときは、標準バッテリーパックから充電が開始されます。

● 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

| 取り付けているバッテリー | 電源ON | 電源OFF |
|------------------------|-------------|--------|
| 標準バッテリーパック | 約 2 ~ 4 時間 | 約 2 時間 |
| 標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方 | 約 6 ~ 16 時間 | 約 6 時間 |

(注) 周囲の温度が低いときや周辺機器を取り付けているときなど、パソコンの使用状況によってはこの時間よりも長くかかることがあります。



警告

・バッテリーパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。



注意

・バッテリーパックの充電温度範囲内 (10 ~ 30) で充電してください。充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。発熱したり、サビなどのおそれがあります。

・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

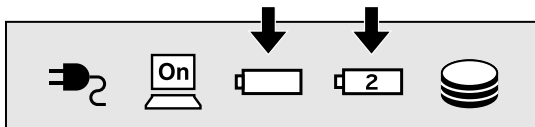
3 バッテリーに関する表示

● Main Battery LED で確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリーの状態を示すアイコンです。

なお、大容量バッテリーは別売りです。

⇨ 大容量バッテリーについて ⇨ 「4章 8 大容量バッテリーを使う」

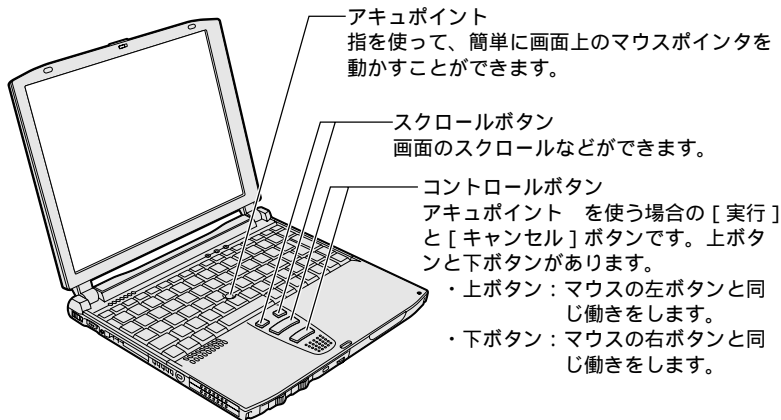


それぞれのインジケータの色は次の状態を示しています。

| | LEDの状態 | | パソコン本体の状態 |
|---|--------|--|--------------------|
| Main Battery  LED | 緑 | | 充電完了 (ACアダプタ接続時) |
| | オレンジ | 点灯 | 充電中 |
| | | 点滅 | 充電必要 |
| 消灯 | | バッテリーパックが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない バッテリーパックに異常 | |
| 大容量バッテリー  LED (大容量バッテリー接続時) | 緑 | | 充電完了 (ACアダプタ接続時) |
| | オレンジ | 点灯 | 充電中 |
| | | 点滅 | 充電必要 |
| 消灯 | | 大容量バッテリーが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない 大容量バッテリーに異常 充電していない | |

⇨ バッテリーの詳細について ⇨ 「3章 パソコンを持ち歩く」

本製品には、マウスと同じ働きをするアキュポイント、2つのコントロールボタンおよびスクロールボタンが装備されています。



基本操作

キーボード中央の、アキュポイント に指を置きます。アキュポイントを押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

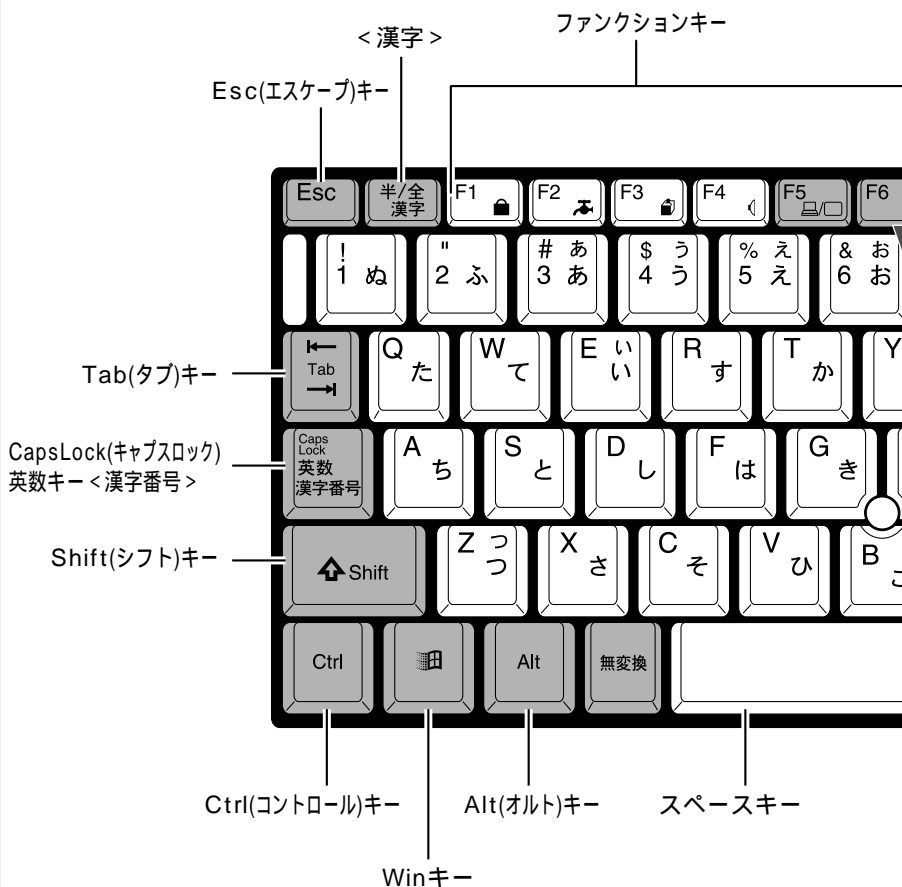
| | |
|-------------|--|
| クリック | アキュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。 |
| ダブルクリック | アキュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。 |
| ドラッグアンドドロップ | 上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アキュポイントでマウスポインタを移動します(ドラッグ)。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します(ドロップ)。 |
| スクロール | 画面を上下に動かす動作のことをいいます。スクロールボタンを押すと、画面がスクロールします。 |

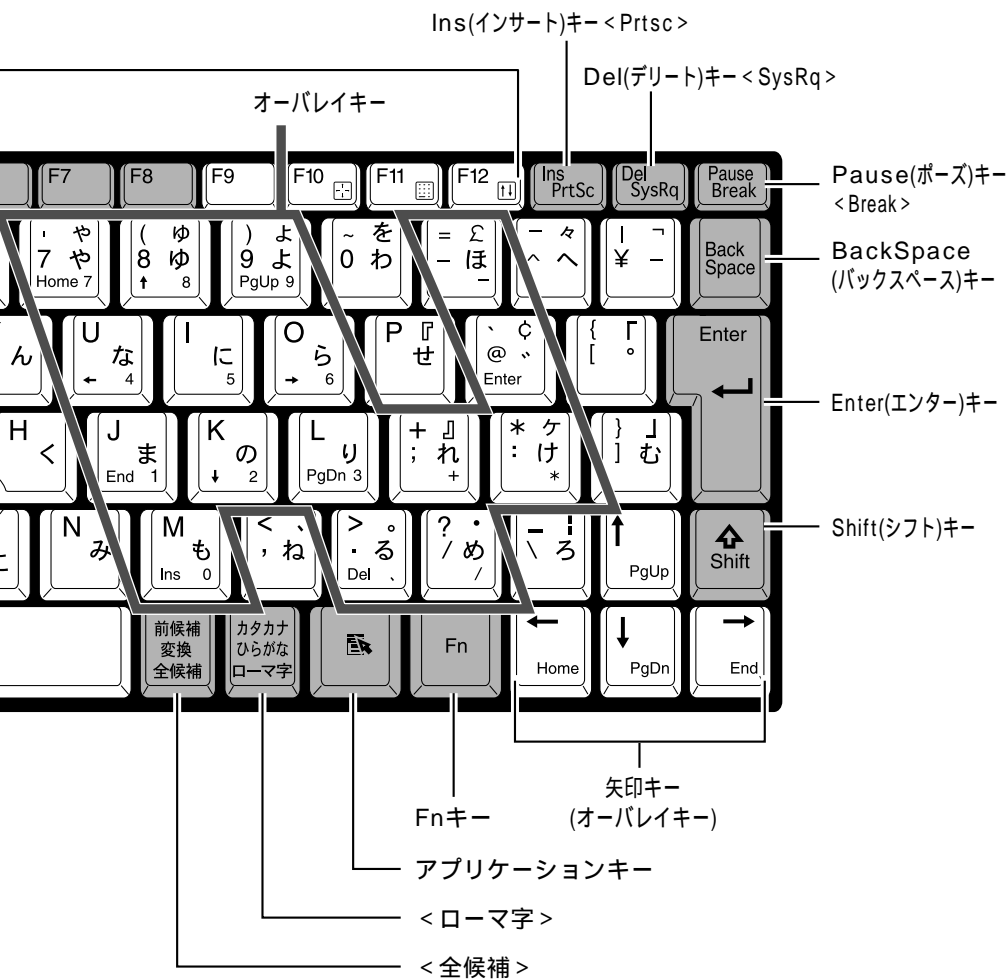


- ・次の場合、アキュポイント を操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。
 - ・電源を入れたとき
 - ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき
 この場合は、10秒以上待ってから、アキュポイント を使用してください。

6 キーボード

キーボードの使い方はソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。





● 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを「文字キー」と呼びます。文字キーには2～6種類の文字・記号が印刷されていますが、どの文字・記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。文字キーに印刷された文字・記号を入力する場合の操作について、次の文字キーを例に説明します。

















| 入力したい文字・記号 | 入力操作 | 内容 |
|------------|---|---|
| 左上の文字・記号 | [Shift] キーを押しながら押す | 記号やアルファベットの大文字（この場合は「 」）が入力できます。 ☞ 「本節・主なキーの呼び方と役割」 |
| 右上の文字・記号 | カナロック状態で [Shift] キーを押しながら押す | 記号やカタカナの促音、拗音（この場合は「や」）が入力できます。 ☞ 「本節・入力に関する制御キー」 |
| 左中の文字・記号 | そのまま押す | 数字やアルファベットの小文字（この場合は「7」）が入力できます。 |
| 右中の文字・記号 | カナロック状態で押す | カタカナや記号（この場合は「ヤ」）が入力できます。 ☞ 「本節・入力に関する制御キー」 |
| 左下の文字・記号 | アロー状態のときに押す または [Fn] + [Shift] キーを押しながら押す | カーソル制御キー（この場合は [Home] キー）として使えます。 ☞ 「本節・[Fn] キーを使った特殊機能キー」 |
| 右下の文字・記号 | 数字ロック状態のときに押す または [Fn] キーを押しながら押す | テンキー（この場合は「7」）として使えます。 ☞ 「本節・[Fn] キーを使った特殊機能キー」 |



メモ

- ・（チルダ）を入力する場合は、[Shift] キー + [` `] キーを入力してください。[Shift] キー + [` `] キーを押しても入力できません。
- ・ \ （バックスラッシュ）を入力すると、「¥」が表示されますが、同じ機能を持ちます。
- ・キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

● 主なキーの呼び方と役割

| キー | 内容 |
|---|---|
|  (エスケープ) | 操作を取り消すときに使います。 |
|  (シフト) | アルファベットの英大文字、英小文字の選択などをします。 |
|  (オルト) | ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。 |
|  (コントロール) | |
|  (ウィン) | Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。 |
|  (スペース) | 空白文字を入力するときに使います。 |
|  (アプリケーション) | マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。 |
|  (エフエヌ) | オーバーレイキーを使用するときに使います。 |
|  (インサート) | 文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。 |
|  (デリート) | 文字を削除するときなどに使います。 |
|  (矢印) | カーソル移動などに使います。 |
|  (エンター) | 作業を実行するときなどに使います。 |
|  ~  (ファンクション) | 特定の操作を実行するときなどに使います。 |

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

● 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

| キー | 内容 |
|-----------------------------------|---|
| Ctrl + CapsLock 英数 | カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右中に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。 |
| Shift + CapsLock 英数 | 大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。 |

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。


ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。










● **Fn** キーを使った特殊機能キー

| | |
|--|---|
| Fn + F1 《インスタントセキュリティ機能》 | キーボードをロックし、画面を消します。 ロックを解除するには、次のように操作します。 パスワードを設定している場合： パスワードを入力し、 Enter キーを押す パスワードを設定していない場合： Enter キーまたは F1 キーを押す パスワードは、「東芝 HW セットアップ」で設定します。 |
| Fn + F2 《省電力モードの設定》 | Fn キーを押したまま、 F2 キーを押すたびに「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードを切り替えます。 |
| Fn + F3 《電源 ON / OFF 時に使用する機能の選択》 | Fn キーを押したまま、 F3 キーを押すたびに電源オフ、スタンバイ、休止状態の 3 種類に電源を切る状態が切り替わります。 電源ボタンを押すと選択した状態で電源が切れます。 |
| Fn + F4 《アラーム音量の調節》 | アラーム音量を切り替えます。 Fn キーを押したまま、 F4 キーを押すたびに音量が変わります。 ↑オフ 小 中 大↓ |

| | |
|--|---|
| <p>[Fn] + [F5] 《表示装置の切り替え》</p> | <p>[Fn] キーを押したまま、[F5] キーを押すたびに現在の順序から、次の順で表示が切り替わります。 ↳内部 同時 外部」 画面のプロパティでも切り替えることができます。 表示装置の設定は「東芝 HW セットアップ」の [Display] タブで行います。</p> |
| <p>[Fn] + [Shift] + キートップの左下側に印刷された文字のキー</p> | <p>キートップ左下に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。</p> |
| <p>[Fn] + [F10] (アロー状態) 《オーバーレイ機能》</p> | <p>アロー状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F10] キーを押します。</p> |
| <p>[Fn] + キートップの右下側に印刷された文字のキー</p> | <p>キートップ右下に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。</p> |
| <p>[Fn] + [F11] (数字ロック状態) 《オーバーレイ機能》</p> | <p>数字ロック状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F11] キーを押します。</p> |
| <p>[Fn] + [F12] (スクロールロック状態)</p> | <p>一部のアプリケーションで <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キーを画面スクロールとして使用できます。スクロールロック状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F12] キーを押します。</p> |
| <p>[Fn] + <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> | <p>キートップ右下に灰色で印刷された、[Home]、[End]、[PgUp]、[PgDn] キーとして使用できます。</p> |

● キーを使ったショートカットキー

 キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

| キー | 操作 |
|---|------------------------|
|  + R | [ファイル名を指定して実行] 画面を表示する |
|  + M | すべてをアイコン化する |
| Shift +  + M | すべてのアイコン化を元に戻す |
|  + F1 | Windows のヘルプを起動する |
|  + E | Windows エクスプローラを起動する |
|  + F | ファイルまたはフォルダを検索する |
| Ctrl +  + F | 他のコンピュータを検索する |
|  + Tab | タスクバーのボタンを順番に切り替える |
|  + Break | [システムのプロパティ] 画面を表示する |

● 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

| 特殊機能 | キー | 内 容 |
|----------|---------------------------------------|---|
| システムの再起動 | Ctrl + Alt + Del | プログラムの強制終了画面が表示されます。再度同じキーを押すと、システムを再起動します。 |
| 画面印字 | Fn + Ins | 現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。 |
| | Alt + Fn + Del | 現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。 |



お願い

・システムが操作不能になったとき以外は **Ctrl** + **Alt** + **Del** キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

● 日本語入力システム


本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。

● 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。



ここをクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する


タスクバーの  をクリックし、「ひらがな」を選択する

[Alt] + [半/全] キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



● 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン () をクリックしてください。



メモ

・ローマ字入力とかな入力の切り替えは、**[Ctrl] + [CapsLock英数]** キーでも可能です。

● 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、**[Space]** キーを押します。


目的の漢字ではない場合は、もう一度 **[Space]** キーを押して、他の漢字を表示します。さらに **[Space]** キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

キーで選択し、**[Enter]** キーを押します。

☞ MS-IME の使い方 ☞ 『MS-IME のオンラインヘルプ』



メモ

・ツールバーのヘルプアイコン () をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

7 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。

サウンドに関する設定についてはあわせて『Windows のヘルプ』をご覧ください。


● ボリュームダイヤルで調整する

本体前面のボリュームダイヤルで調整します。

音量を大きくしたいときには右に、小さくしたいときは左に回します。

☞ ボリュームダイヤル ☞ 「1 章 1 各部の名称」

● ボリュームコントロールで調整する

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする

または


[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[ボリュームコントロール] をクリックする
ボリュームコントロールが起動します。


- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

詳しくは、ボリュームコントロールのヘルプをご覧ください。

● [音量]アイコンから調整する

タスクバーの[音量]アイコン()からスピーカの音量を調整することもできます。

- 1 タスクバー上の[音量]アイコン()をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



メモ

- ・[ミュート]をチェックすると消音となります。
- ・使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
 - ・本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
 - ・使用しているアプリケーションの設定を変える
 - ・外部マイクをスピーカから離す

② システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす/鳴らさないの設定ができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。また、音量の調整もできます。

● 設定方法

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
[コントロールパネル]画面に[東芝 HW セットアップ]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。
- 3 [Hardware Alarm] タブで設定する
鳴らす場合は[System Beep]をチェックします。
音量は[Alarm Volume]のスライダーバーで調整します。



メモ

・システムスピーカの音量の調整は、**[Fn] + [F4]**キーを使用して変更することもできます。

☞ 「本章 6-**[Fn]**キーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れて、パソコンがシステムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

| | | |
|----------|---------------------|----|
| 1 | 電源を入れる | 48 |
| 2 | 初めて電源を入れるとき | 51 |
| 3 | 電源を切る | 61 |
| 4 | オンラインマニュアルの起動 | 67 |


1 電源を入れる

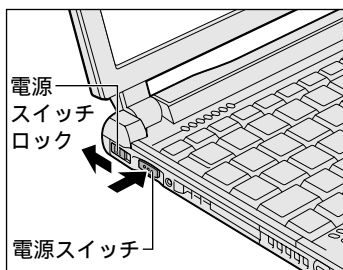
1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
フロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクが
入っていないことを確認してください。

2 ディスプレイを開く

パソコンの設定によっては、ディスプレイを開くと自動的に電源を入れること
ができます。その場合は手順 3 の操作は不要です。

3 電源スイッチロックを解除 () し、電源スイッチを押す

電源が入ると、Power  LED が緑色に
点灯します。






初めて電源を入れた場合は、[Windows セットアップの確認] の画面が
表示されます。表示されるメッセージに従って、ご使用のシステムのセッ
トアップを行なってください。

⇒ セットアップの方法について ⇒ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

スタンバイまたは休止状態が設定されている場合は、電源を切る前の状態
が再現されます。




お願

・システムが起動するまでアクュポイント  をさわらないでください。
アクュポイント  が動作しなくなる場合があります。その場合、約
1分程アクュポイント  を操作しないでください。その間に正常に
動作できるように内部処理を行います。



メモ

・スタンバイ機能 / 休止状態とは、次に電源を入れたとき、終了した
時点から作業が行える機能です。
スタンバイ機能は電源を切る前の状態をメモリに保持し、休止状態
の場合はハードディスクに保持します。
・スタンバイ機能を設定している場合、スタンバイ中は Power 
LED がゆっくりとオレンジ色に点滅します。

4 電源スイッチロックを有効 () にする

誤操作を防ぐために、電源スイッチをロックしておいてください。

● パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押してください。



メモ

- ・スタンバイ機能、または休止状態を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- ・パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は自動的に電源が切れます。スタンバイ機能または休止状態を実行している場合は、設定した状態に戻ります。

● 次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

(1) Bad x x x x x x x x

この場合は、**[F1]**キーを押してセットアップ画面を表示させます。

[Fn]+[]キーを押して標準に設定してください。その後、**[Fn]+[]**キーを押して終了し、**[Y]**キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

(2) WARNING: x x x x x

この場合は、**[Enter]**キーを何回か押してください。

(3) WARNING:RESUME FAILURE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE

スタンバイ機能によるシステム起動ができない、というメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

☞ スタンバイ機能 ⇄ 「本章 3 電源を切る」

(4)

Previous resume from hibernate failed
Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N]?

休止状態からの復元ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、**Esc**キーを押してください。

☞ 休止状態 ⇨ 「本章 3 電源を切る」

2 初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows を使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。1度 Windows のセットアップをすれば、以降は電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

また、カスタム・リカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

☞ カスタム・リカバリ CD ☞ 「6章 カスタム・リカバリ CD の使い方」



お願い

・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードを接続し、コンセントにつないで行ってください。

☞ 電源の接続方法について ☞ 「1章 3-2 電源に接続する」

・「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。
・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

・「Windows セットアップ」を行う前に、30 分以上キーを押さない（アキュポイント の操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。
画面に表示するには、**[Shift]** キーを押すか、アキュポイント やマウスを動かしてください。

1 Windows のセットアップ

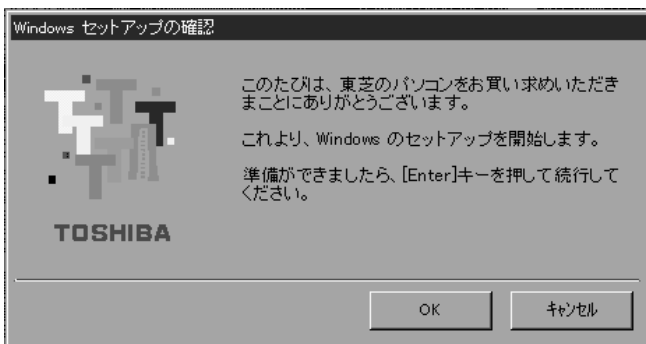


メモ

プロダクトキー

・Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter] キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。

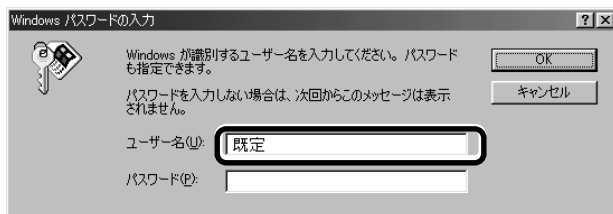
2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。 [Alt] キーを押したまま、[半/全] キーを押してください。



ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

[N] [A] [K] [A] [T] [A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示さ

れたら、[Enter] キーを押す

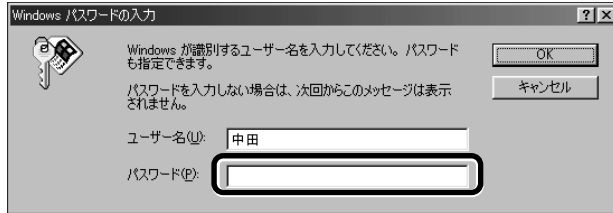
[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。



[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**[Tab]** キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

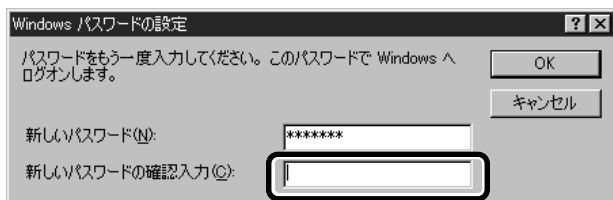


| | | |
|----------|---|--|
| 使用できる文字 | アルファベット（半角） | A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z |
| | 数字（半角） | 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 |
| | 記号（単独のキーで入力できる文字の一部） | - ^ @ [] ; : , . / （スペース） |
| 使用できない文字 | <ul style="list-style-type: none"> ・全角文字（2バイト文字） ・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift]キーなどを使用する）文字 【例】 （パーチカルライン）、&（アンド）、（チルダ）など ・¥（エン）  キーや  キーを押すと¥が入力されます。 | |

入力したパスワードは「****」で表示されます。パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力直してください。

登録したパスワードを正しく入力できない場合

[Del] キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する

[Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す
カーソルが新しいパスワードの入力に戻ります。

[Del] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
新しいパスワードを入力する

[Tab] キーを押す

[新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
[OK] ボタンをクリックする



メモ

・[システム設定の変更] 画面で「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」のメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたらすぐに [はい] ボタンをクリックして、再起動してください。

このメッセージが表示された状態でしばらく操作を行わないと、再起動できなくなる場合があります。操作できなくなった場合は、

[Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押して再起動し、Windows のセットアップを続けてください。

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、[F1] キーを押してください。メニューが表示されます。

ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

5 [次へ] ボタンをクリックする

Windows のセットアップが開始されます。



[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

6 [省略] ボタンをクリックする



日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

- 7 [タイムゾーン]で[(GMT+09:00)東京、大阪、札幌]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックする



[(GMT+9:00)東京、大阪、札幌]が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意]画面が表示されます。

- 8 画面の[同意します]をチェック(左側の印をクリック)して、[次へ]ボタンをクリックする



契約内容を、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、[PgUp]キー、[PgDn]キーを使って画面を動かしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。[登録先: Microsoft]画面が表示されます。

9 画面の [いいえ、今は登録しません] をチェック (左側の印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする



オンライン登録には、インターネット (モデム) への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

[AOLに入会して今すぐインターネットをはじめよう。] 画面が表示されます。

10 [次へ] ボタンをクリックする



[設定が完了しました] 画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする



Windows のセットアップが終了します。



メモ

・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 2 ユーザ登録をする」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

② ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線に接続し、インターネットに接続する必要があります。

☞ 「5 章 2 インターネットに接続する」、『インターネットに接続しよう!』

● 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

インターネットで登録する

インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート]-[プログラム]-[東芝 PC お客様登録]-[東芝 PC お客様登録]をクリックし、表示される画面に従って設定を行なってください。

お使用の状況に従って次の 3 つから選択してください。

[インターネットプロバイダと未契約の方]: インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方]: インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由での登録を希望しない方]: はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

● Microsoft 社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。
インターネットをご利用になるには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次の手順で登録します。

- [スタート] - [ヘルプ] をクリックする
- [ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- [アプリケーションの登録] をクリックする
- [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- 右画面の [ここをクリック] をクリックする
- ウィザードが起動します。
- 表示される画面に従って登録を行う

3 電源を切る

パソコン本体を使い終わって電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

- ・電源オフ
- ・スタンバイ機能
- ・休止状態

● 電源オフ

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ります。

● スタンバイ機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。
次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態に比べて、状態の再現がすばやく行われます。
しかし、休止状態実行時よりもバッテリーを消耗しますので、AC アダプタ
を取り付けてお使いください。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態
を実行することをおすすめします。



メモ

- ・スタンバイ機能を実行中にバッテリーを使い切ったとき、またはバッテリパックを取りはずしたときは、スタンバイ機能が無効になります。また、データが消失するおそれがあります。

● 休止状態





電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。
スタンバイ機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現し
ます。
休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。ご購入時は有効に
設定されています。

☞ 電源オフ、スタンバイ機能、休止状態 ⇄ 「5 章 1 消費電力を節約する」

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつか方法があります。




注意

- ・休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。Disk  LED、および Power  LED 点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスク装置が壊れるおそれがあります。
- ・Disk  LED、またはフロッピーディスクドライブのLED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、ハードディスク装置やフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。十分に放電するまでしばらく待ってください。



お願い

- ・必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
- ・周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・スタンバイ機能、または休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

● 方法 1 - 電源オフ

[スタート]メニューから Windows を終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [Windows の終了] を選択する



(表示例)

- 3 [終了] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする

選択されていない場合は ボタンをクリックして選択してください。



メモ

- ・この方法で電源を切るとスタンバイ機能や休止状態は実行されません。

● 方法 2 - スタンバイ機能

[スタート]メニューからスタンバイ機能を実行します。

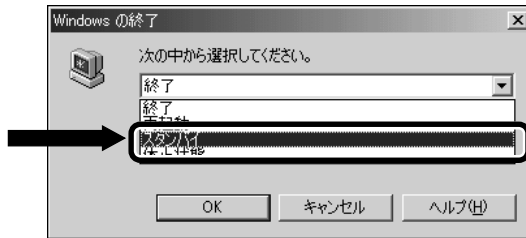
1 [スタート] - [Windows の終了] を選択する



(表示例)

2 ボタンをクリックして [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



メモ

- ・スタンバイ機能を実行すると、休止状態実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態を実行することをおすすめします。

● 方法 3 - 休止状態

[スタート]メニューから休止状態を実行します。
あらかじめ休止状態を有効にしておきます。

1 休止状態のサポートを有効に設定する

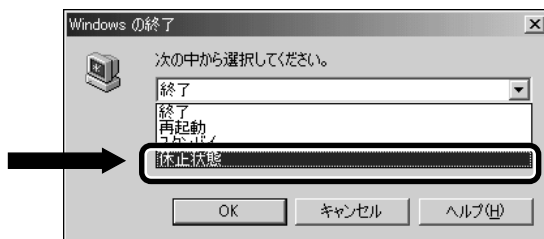
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
[東芝省電力]をダブルクリックする
[コントロールパネル]画面に[東芝省電力]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。
[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェック(☑)する
休止状態のサポートが有効になります。

2 [スタート] - [Windows の終了] を選択する



(表示例)

3 ▼ ボタンをクリックして、[休止状態]を選択し、[OK] ボタンをクリックする



● 方法 4 - 電源スイッチを押す

電源オフ / スタンバイ / 休止状態を実行できます。
あらかじめ、[Fn] + [F3] キーを押して、設定します。

1 [Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押す

画面が表示されます。

2 [Fn] キーを押したまま、[F3] キーを押し、実行したい処理 (機能) を選択する

[F3] キーを押すたびに、処理 (機能) が切り替わります。
[東芝省電力] からも設定できます。

☞ 省電力モードの設定 ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」



メモ

・ 休止状態を実行するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

3 電源スイッチを押す

● 方法 5 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

電源オフ / スタンバイ / 休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理 (機能) を選択する

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

[東芝省電力] をダブルクリックする

[電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

[動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理 (機能) を選択する

スタンバイまたは休止状態に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



メモ

・ 休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがプレインストールされています。プレインストールされているアプリケーションの使い方やWindowsの便利な設定などについては、オンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルの起動方法は次のとおりです。

1 パソコン本体の電源を入れる

☞ 「本章 1 電源を入れる」

Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[オンラインマニュアル] をクリックする

オンラインマニュアルが起動します。

表示の内容はあらかじめインストールされているソフトやお客様の設定により異なります。



メモ

・デスクトップ上にある[オンラインマニュアル]アイコンをダブルクリックしても、オンラインマニュアルを起動することができます。



(表示例)

● オンラインマニュアルの内容

オンラインマニュアルを起動すると、次のような目次が表示されますので、その内容を簡単に説明します。

| | |
|----------------|------------------------------|
| はじめに | オンラインマニュアル中の表示記号、ユーザ登録などについて |
| オンラインマニュアルの使い方 | オンラインマニュアルの使い方について |
| ソフトウェア | 本製品に用意されている各アプリケーションについて |
| こんなことがしたい | 本製品をいろいろなことに活用する方法について |
| 困ったときは | 操作に行き詰まったときに、トラブルを解消する方法について |
| 付録 | モデム機能、製品の仕様について |
| 用語集 | 知っておいた方がよいパソコン関係の用語について |

● 検索する

オンラインマニュアルの記述内容は、[検索] タブで検索できます。

[検索] タブ 探したい語句を入力し、その語句が含まれるページをすべて検索します。